

JOSO 自慢の「ワタ繰り娘」のお一人が実家へお引っ越し・・・お手紙お電話頂きました。

常総生協の皆様へ
”常総生協ありがとう！そしてさようなら”

結婚を機にこの地に移住してから30年と10か月。我が家の食生活は常総生協に支えられてきました。特に今年27歳になった子どもが幼い頃、当時はまだ少なかった食物アレルギー（牛乳、卵、大豆）でしたが、ボードブルーニューさんの食パンのおかげでパンを食べる事ができるようになっています。他の家族もお蔭様で大病をする事もなくげんきで今に至っています。 ”暮らしの要は食にあり”という常総生協の指針のおかげでみそ作り、梅干作りなど手作りを続ける事ができました。

このたび故郷（鹿児島）に帰るため常総生協ともお別れをすることになりました。多分同じような生協はないと思うのでこれからは自分達で食材を選ぶという厳しい道が待っているように思いますが、常総生協の食の指針を思いだし

健康に暮らしたいと思います。長い間本当にありがとうございました。経営が厳しい時に退会する事心苦しく思いますが、パワフルな皆様のこと、きっと前進が続けられると信じています。常総生協の発展と、皆様のご健康をお祈りしています。

長くお世話になったのに生協が大変な時に資金を全額返金してもらうのは心苦しいと夫婦で話し合いました。この後しばらく貯金をくずす生活にはいますので、若い方で新体制を組まれた生協さんに半分を残し、再出発をする私たちも半分と思います。いろんな活動も生協の基盤があってこそと思うので、よろしくお願いします。

綿の種を頂いて、ふるさとの鹿児島にも蒔いて育てます。常総生協さん、そしてあいコープふくしまのみなさん、ありがとう。綿繰りにわたしの心は救われました。

思い出は ワタとの出会い ありがとう

引っ越し前のお電話頂戴しました。言葉拾ってみました。（村井）

30年と10か月常総さんと、あいコープふくしまさん、みなさんありがとう。いつだって知って知らずの仲ながら、十分にこいっしょさせていただきました。故郷に帰るいつかが来ると分かっていただけ、その今なぜか涙が伝います。

ワタ繰りに私の心は救われました。くるくるきゅつきゅつ しゅるぎいー。
ワタ繰りは私の心を回してくれました
出てくる出してきてるまっしろしろ
繰り出されるワタの柔らかさが 私を私のリズムにあわせてくれる

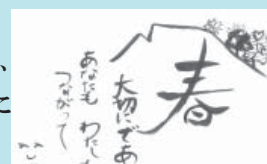
くるりんくるるりと回して しゅっしゅるるしゅる回し続けた
ほんわりふんわり柔らかに光って 体が元気元気に温まってきて
ワタ繰りの手回しは私の心を回し 揺らして誘ってフクシマに行かせた

私にワタ繰り回しの不思議さを 教えてくれた皆さんありがとう



みんなの気持ち ワタに託して 和綿のタネをお分けします。

今年の春は、お庭や畑、プランターで和ワタ育てしてみませんか！
ふくしまでも子どもたちがはじめます。無農薬、無施肥でできます。5月に種まき、10月には収穫、そして綿繰りができます。毎年種を増やして、その先は、マイ座布団や、糸にも布にも織物にもと工夫次第です。もちろん、福島の子らに贈っても。和綿のタネをお分けします。



コース名	班名	氏名	tel
(栽培面積)	プランター、	庭 (	坪)、
		畑 (	坪)、その他

【ものづくり 人づくり 地域づくり】 特集 震災から2年 東北は今 (4)

わたを通して、 福島の子らとつながり、 未来を見守る



コットンボールがふくしまに、鹿児島に・・・

この子らが何事もなく
元気に育ちますように！



あいコープ福島のこどもたち

じょうそう生協のお母さんとおともだちへ！

どこへ行くのにもわたくり機持参！
ふくしまの子どもたちの中で、わたくりが
今、大人気です！
ほくたち、今度は種を蒔いて育てるんで
す。あとから生まれてくる赤ちゃんが元氣
に育つように！
(あいコープふくしまコットンキッズより)



わたの種を蒔こう！
希望者は「なんでもカード」に！
わたの種 1袋 10粒
おとし。常総生協さんより、福島を暮らす子どもへわたの
布団をいただきました。昨年の生協まつりでは常総生協の
常総生協親子の皆さんが収穫した20キロのわたをみんなが
のり直し用に届けさせていただきました。
そのわたくり作業も運んで、わたにふれようと、わたのまつり
になります。
今年はみんなが種をまいてわたをつくりましょう！
わたの花もきれいです。
わたの育て方
1. 5月上旬から下旬に種を蒔きます。
2. 種を蒔く前の晩に水に漬けて翌日蒔きます。
3. 大きく育ちますから、20~30cmほどの間隔で2~3粒ずつ
蒔きます。土は種が隠れる程度かけます。
4. わたの芽は1週間くらいで出ます。本葉が5~6枚に
なると、間引きをします。6月、7月は根を伸ばし、暑くな
るとどんぴん 大きくなります。
5. 夏の土用(7月20日)になると、樹は50~60cmくらい伸びます。
そのときに2~3本の芯を摘み取ります。根は横に伸びて多くの花をつけ
ます。
6. 開花後 50~60日、青い実が大きくなり9月中旬頃から黄
白い綿がふれ出します。
◎ 収穫できたわたは、生協に回収します。

【放射能汚染で一斉避難、生協も撤退閉鎖を考えた・・・あいコープふくしま】 常総子ども健康基金へのご寄付ありがとう！・・・あいコープふくしまとの交流 気合い、分かち愛、励まし合いの交流をありがとう！

福島のみなさんへ

3,11 震災以来ずっと、そう映りました。
きりりとした決意をどこかに秘めて、しっか
りの活動をなさっている皆さんを思います。生産者
さんともガッチリの間柄が見える元気のリード役
さん！そんな感動をいただけてきました。どんど
んどんどん頑張れる皆さんとの距離はますます近
くなってきています。

波打つ連山に向かって飛び交う雪舞いの中、ワタ
持参でお邪魔をした2年振りの力強い復興祭は、
熱気に溢れていました。浪江町の方々とともに少
しでしたが会話ができました。「こんなになって何にも
できなくてよ、」と男性の方は座り込んでのワタ
話、質問が続きました。女性のお三方は言葉少な
でしたが、これがワタなの？種ね、仮設は花壇や
畑を作れないの、植え木鉢でもいいの？と遠慮が
ちに。もうお一人は忙し気のご挨拶でしたがワタ
があるだけで和みの場となりました。行かせてい
ただいて本当に良かった。親しみの距離が身近に
なってきていることを感じさせてくれました。

何よりはたっぴりの驚き報告です、ワタの里交流
から月日の過ぎしは僅かなのに、上出来モードの
丁寧さでご挨拶に飛んできてくれたお子様たちの
成長振りでした。感激でした。熱い願いは逞しさ

に変化していましたね。誰に倣ったのか、食べ物
が残らないようにの連携プレイ。お手伝いの見事
な販促振りは頼もしかったです。

もう一つのありがとうは、どこでも楽しとワタ繰
りに熱中、ハマってくださっているとのこと。
そして、あの「来末ちゃん」がしっかりのお座り
をしていて、その傍らでお母さんのワタ繰り姿。
あれっ！その前には大原さんも写ってる。送られ
てくる「ひまわり」で写真を見つめています。い
つも現場情報をリアルにしてお知らせいただくお
心遣いの早業に深謝です。常総生協も種を植えよ
う+ワタ繰りのセットを一緒にできるよう準備中
です。

平和のシンボルかもしれません。心と体の集中力
に心が安らぐと佐藤理事長さんの仰せの通り、未
来の復興へのシンボルにしましょう。心にも大地
にも、みーんなでワタの種をどんどん植えましょ
う。

最後に、常総生協の子どもたちの健康調査基金
に大いなるお気持ち、ご寄付をいただきました。
本当に感謝です。あいコープふくしまさんの皆々
様に、心よりお礼を申し上げます。

(村井和美 記)

【あったか～なコットン交流日誌】

【2011 年】

- 2011.3 月 村井理事長より「被災地の子どもにあっ
たかい和綿ふとんを届けよう」と呼びかけあり
- 2011.4.2 製綿済みの綿 80kg を常総市の川亀製綿
さんへ
- 2011.4.20 福島県庁で母乳調査と母子避難の記者
会見をしたのち、郡山のあいコープふくしまのみなさ
んに会いに
- 2011.4.25 組合員に綿繰り（ワタの種を取る作業）
協力を呼びかけ
- 2011.5.9 生協本部にて組合員による綿繰り作業始
まる
- 2011.7.11 あいコープふくしま総代会に参加。放射
能の不安の中で子どもを産む決意をしたお母さんの
発言あり、あいコープの組合員の赤ちゃんにわた布
団を送ろうと
- 2011.8.25 組合員と市民ボランティアさんが綿繰りし
たワタ、川亀製綿さんへ納品
- 2011.8.30 組合員で常総市川亀製綿さんを見学。
石岡鈴木牧場へ綿の種をお届け
- 2011.9.7 あいコープふくしまの組合員さんつくばの
綿畑、川亀製綿さん「こんな風に出来てます」に
ふとんを見学
- 2011.10.13 ふとん生地柄選び（かわいい絵柄を
選びました！）

- 2011.10.17 川亀製綿さん、ふとん 20 組・座布団
20 枚が完成！
- 2011.10.20 綿布団をふくしまへお届け あいコープ
ふくしま綿交流会
- 【2012 年】
- 2012.3.21 川亀製綿にある昭和初期の綿繰機を元
に、組合員の山中鉄工所さんが電動綿繰機の試作
を開始
- 2012.6.25 あいコープふくしま総代会へ（郡山）
- 2012.6 ～ 組合員の山中さんが福島に贈る「木製
手回し綿繰り機」製作（2 台）
- 2012.8.24 ～ 25 あいコープふくしま親子、綿の里
交流（茨城つくばに保養・綿繰り交流ツアー）
- 2012.11.10 常総組合員親子による綿摘み（40kg
収穫）
- 2012.11.15 ～ 収穫した綿の天日干し作業
- 2012.12.1 あいコープふくしま生協まつりに、収穫し
たコットンボール 40kg を贈呈
- 【2013 年】
- 2013.12 あいコープふくしまより「木製手回し綿繰
り機」5 台の製作を依頼受け
- 2013.2 ～ あいコープふくしまの子どもたちによる
「綿繰り」作業がはじまる
- 2013.3.18 あいコープふくしま わたの種を蒔こう！

ワタがあると笑顔になって、み～んな良い子、良い人に。 思い出いっぱい 見るコットン交流フォトスタジオです！

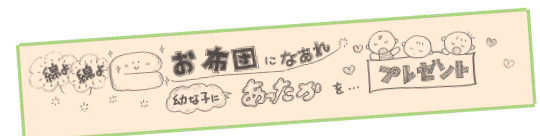
「残らざるを得ない母子にとって、あいコープふくしまがあったからこそ、くじけそうになる時にい
つも仲間と先輩がいてくれて心強く、そして検査された安心の食で心身共に守ることのできた2年。
だから福島でわが子を産む決意ができたんです」。そして「仲間の生協のみなさんや生産者の輪は、
私たちのかけがえのない恩人」と。



2011.4.20 お見舞に伺った
お礼のハガキ



被ばくの不安の中で出産の決意が語られたあいコー
プふくしまの総代会（2011 年 7 月）



2011.10.20 ふくしま交流



2011.10.20 ふくしまのお
母さんたちにわた繰りを
教える常総のわた娘



2012.8.24-25 保養を兼ねて茨城のワタの里へ



2011.10.20 あかちゃん和綿ふとん 20 組をお届け



2012.8.25 ふくしまの子どもたちがワタ畑へ



2011.9.7 あいコープの理事さんた
ちが川亀製綿さんを訪問。
できつつあるふとんを見学。



手回しワタ繰り機製作
者の山中さんを囲んで



ワタの贈呈。
コットンボールを
手に来末（くるみ）
ちゃんを抱くふく
しまのお母さん。
あいコープふくし
ま復興まつりのス
テージ
(2012.12.1)

常総市 川亀製綿（ふとん店）さん



2011.10.17 ついに 20 組完成！



川亀製綿さん夫妻



川亀製綿さんの仕事場。古いミシンの向こうにワタの木

2012.11.10
常総生協親子
の綿摘みを伝
える新聞